



オアシス

文責：副学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2018年11月9日発行 第7号

「秋空に」という邦人作曲家の吹奏楽曲があります。まさに秋の空を表現するがごとくとても素敵なメロディーに、今日の青空のもとに心もウキウキとなります。音楽の力は自然の美しさをも引き込む寛容さに毎日が癒されると共に生きる力の源になります。

さて、先月ビッグニュースがあり、ノーベル医学生理学賞に“本庶 佑”さんが受賞されました。がん治療にまさに光明ともいうべき快挙というほかない出来事でした。現代人の2人に1人が発症するといわれる「がん」。他人事で無く、がんは治る病気となれば日々の暮らしがどんなに豊かになることか…。それは、何事をなすにもまずは健康でなければ諸事を達成することは困難なことだからです。

◎ 出雲フィル定期演奏会を振り返って！

定期演奏会も今年で22回目を迎え、出雲市民にも少しずつではありますが、クラシックコンサートとして定着しているように思えます。今年は、市民会館が改修中ということもあり例年なら7月開催が、10月開催となりました。10月開催のメリットとしては、秋という穏やかな季節の中で行われることでしょうか…。デメリットでは、様々な行事が秋に集中するのでお客様の出足が鈍ることが懸念されることでした…。

案の定、当日演奏会では空席が目立ち、少し残念な結果となりました。しかし、演奏の方はとても熱く、ホールいっぱいに出雲フィルサウンドが鳴り響きました。地方都市にあって、オーケストラ運営をすることはとても困難なことです。演奏を聴く限りとても素晴らしいオーケストラが出雲に存在することにとっても誇らしい気持ちになります。これも、出雲フィルを取り巻く関係者の皆様の理解とオーケストラ運営の中核となる中井芸術監督の魅力が功を奏しているといえるでしょう。

今回の定期演奏会で目を引いたのが、クラリネット奏者として共演してくださった、“タラス・デムチシン”氏の存在でした。クラリネットの音色もさることながら、表現力の素晴らしさに圧倒され、その熱意が音楽を通して出雲フィルのメンバーに伝染していく様子がリハーサルを聴いていてよく分かりました。音や響きが躍動する、いわゆる命を吹き込まれたような感覚はこのことを指すのだと感じました。リハーサル時に吹き込まれた息吹は、本番のプログラム曲全体に広がり、心に響く演奏会になったことはいうまでもありません！オーケストラメンバーにとっても貴重な体験に繋がったことと思います…。数多くのイベントの中から出雲フィルコンサートに聴きに来てくださった聴衆の皆様の、公演アンケートにも絶賛の声が多くありました。記述してくださった一部を紹介します。



♪素晴らしかった！指揮者のタクトもさることなれど、トークや四方山話もお見事！チャイコフスキーの難曲を見事にまとめられました。出雲フィルは市民の宝です！

♪子供が吹奏楽で演奏した曲に懐かしさでいっぱいになりました。オーケストラが大好きです。CDより何倍も素敵です。

♪指揮者がいろいろ説明してくれるのは良い。出雲フィルを久しぶりに聴いたが、ますます磨きがかかっている。とても感動した。いい一日でした。ありがとう！

♪1部→タラスさんの奏でる音色のなんと優しいことか…。どうやったらあんな音が出せるのか！！
2部→三拍子にはいろいろな顔があるなと感じました。チャイコフスキーは好きな作曲家の一人ですが、改めて彼の偉大さを認識させられました。オーケストラは本当にいいな～！！

♪各種の音楽関係のパンフレット、案内等盛りだくさんにいただき、ありがとうございます。この先のコンサート行きの計画の参考になります。

♪素晴らしい音色とハーモニー、すっかり魅了され、心と和みました。音楽！いいですね。音楽が世界中にあふれて平和が訪れますようにと祈るような思いです。

♪いつも思うこと。若い方が多く活気にあふれている。エネルギーを感じながら聴かせ、見させていただいています。会場を見ても、若い方が多い中、高齢の方も見え、クラシックが好きなんだろうなと思います。

♪公開リハから聴かせてもらいましたが、地方にこんな素晴らしいオケがあることに今まで気が付かなかったことが悔やまれます。思ってたよりずっとグレードが高かった。たくさんのプロオケを聴きましたが、それ以上の感銘を受けたのはなぜなのか…。多分皆さんの音楽への集中度の高さなのかもしれません。久々に音楽を聴いて泣きそうになりました。見事でした。

♪中央の楽団と違い音づくりに取り組む真剣な姿勢が感じられて好感が持てました。地域とともに活動していきたいという熱意も感じました。素晴らしいコンサートをありがとうございました。

♪皆さんの技術の高さに感動しています。リニューアルオープンとルネサンスと選曲も素晴らしかったです。クラリネットのタラスさんもすごかったです。

このように、来場された多くの皆様から高い評価を受けることができました。出雲フィルの大きな特徴として挙げられるのは、構成年齢層が小学生から高齢者と幅広いことと、プロとアマの区別もなく、参加者が気持ちよく学べる機会となっていることです。これらのことが、演奏する側の実直な態度として表れ、聴衆の皆さんの心を動かす原動力となっているのではないかと思います。

また、出雲フィルの参加者からのアンケートには、「充実した時間が過ごせた」「クラリネットが素晴らしかった」「アカデミーの卒業生がたくさん参加していてうれしかった」「たくさん教えてもらうことができて充実できた」「楽曲への理解が深まりとても勉強になった」

「中井芸術監督のエネルギーに感動するのと惜しみなく音楽のことを教えてくださることに、ついていきたくなる気持ちでいっぱいです」等々の出雲フィルに参加することの喜びの感想が数多く寄せられました。さて、次年度の「ザ・グレイト」はもうすでに始動しています！



